

「森林・林業・木材産業京都会議」で研究成果を発表

1 月 26 日、総合的な林業振興を図るため林業関係者、企業、ボランティア団体などが一堂に会して意見交換を行う第 3 回「森林・林業・木材産業京都会議」が京都市内で開催され、約 400 人の参加者で賑わいました。

当センターからはマツタケ人工栽培をはじめとした研究成果について、パネルや実際の研究に用いたマツタケ種菌などの資材を展示し、各研究員が説明を行いました。来場者からは、「マツタケ山への有効な手入れ方法は？」「マツタケ種菌によるシロ形成状況は？」など活発に質問が寄せられ、各研究成果を生産者のもとより広く関係者へ理解いただく機会となりました。



発表の様子

農林センター（森林技術センター）